大学発新産業創出基金事業　早暁プログラム2期ステージ１　提案書類

様式１

※様式１は合計2ページ以内、緑文字の記入例は削除して提出。全項目の記入が必須となります。

１．基本情報

|  |
| --- |
| （１）基本情報 |
| 提案課題名 |  |
| 氏名・フリガナ |  |
| 性別 | 　　　　　 |
| 生年月日 |  |
| 所属機関 |  |
| 部署 |  |
| 役職 | ※役職がない場合には「一般社員」等と記載してください。 |
| （２）略歴 |
| ①学歴（記入例）平成◯◯年 ◯◯大学◯◯学部卒業平成◯◯年 ◯◯大学大学院◯◯研究科修士課程○○専攻修了平成◯◯年 ◯◯大学大学院◯◯研究科博士課程○○専攻修了②職歴（これまでの職歴と職務内容、兼業も含めて記載してください）（記入例）平成◯◯年～◯◯年　◯◯株式会社◯◯開発部（◯◯◯◯◯について開発）平成◯◯年～◯◯年　米国◯◯大学院 経営学修士課程（MBA） 卒業平成◯◯年～現在　　◯◯株式会社◯◯事業部（◯◯◯◯◯事業担当） ③ 主な実務経験とそれに類するもの1. 事業化を目指す技術分野の経験について

事業化を目指す技術分野についての経験を記載してください。研究開発面での経験、事業開発面での経験いずれでも構いません。1. 商社・事業会社等でのビジネス経験もしくはMBA、MOT取得の経験について

商社・事業会社等におけるビジネス経験（主として担当されてきたもの）や、MBAやMOTを取得された方はその経験を記載してください。（ウ）アクセラレーションプログラムやアントレプレナーシッププログラム等の受講経験やEIR等としての活動についてアクセラレーションプログラムやアントレプレナーシッププログラム等を受講した経験がある方は、プログラムの概要やどのようなことを学んだかについても記載してください。また、EIR（客員起業家）としての活動経験がある方は、主な活動内容を記載してください。 |
| （３）申請者の大学等発スタートアップ起業に対する熱意やコミットメント等について |
| このプログラムに応募した理由や、大学等発スタートアップ設立にかける熱意や決意等について、具体的に記載ください。また、本申請に関係する自己アピールのエピソードがあれば、こちらに記載してください。 |

２．応募者が想定している事業化構想（文字装飾可。図画可）

様式２

現時点で想定している事業化構想の概要について、以下①～④記載してください。

※様式２は①～④までで2ページ程度としてください。提出時には緑文字の記載例は、削除すること。

※①～③について、それぞれの項目にそって記載してください。必要に応じて項目を追加することも可能です。

|  |
| --- |
| ①課題 |
| どのような顧客のどのような課題かを記載してください。・課題を有する顧客：・課題（Pain）：・課題解決時の社会へのインパクト： |
| ②解決策 |
| 何を事業として提供することによって、①の課題を解決しようと考えているのかを記載してください。想定している市場や市場規模、事業をどのように拡大するのか等についても、考えがあれば記載をお願いします。・事業の概要：・想定市場：・市場規模：・将来的な事業拡大策： |
| ③解決に当たって注目する技術シーズと理由 |
| ②の事業実現に当たって、現在注目している国内の大学等の技術を挙げてください（可能であれば3つ程度）。また、それぞれについて、技術の概要、なぜこの技術が課題解決や事業化構想の実現に適しているのか理由も記載してください。・注目する技術：○○大学・□□先生のXXXに関する技術・技術の概要：本技術は・・・・課題解決との繋がり： |
| ④自分が実現できる理由や強み |
| これまでのご経験や専門性、コネクション等から、事業化構想を実現するに当たってのご自身の強み、ご自身だからこそ実現できる理由を記載してください。 |

～～～～ここまでで２ページ程度～～～～～

|  |
| --- |
| ⑤　③についての補足情報： |
| 上記③で注目している技術を挙げるに当たって、どのような方法で技術や研究者の抽出を行ったのかについて具体的に記載してください。・データベースを使用した場合：データベース名と入力したキーワード・生成AIを利用した場合：アプリ名と入力したプロンプト・文献や総説などで知った場合：論文・書籍名・特許情報などで知った場合：特許名と出願番号・特許番号など・もとより面識のある研究者の場合：（可能な範囲で）その研究者の方の技術を知ったきっかけ・その他（具体的に記載） |

**３．個人情報の取扱いに関する同意書**

様式３

**国立研究開発法人科学技術振興機構　殿**

**個人情報の取扱いに関する同意書**

令和7年7月17日付で国立研究開発法人科学技術振興機構(以下「JST」という)が公募した早暁プログラム（以下、「本公募プログラム」という。）に応募するにあたり、私がJST宛に提出した個人情報（以下「個人情報」という）が、本公募プログラムの目的達成に必要とされる範囲内で、JST内で利用され、かつ共有されること、及びそれに基づく手続きの一環で私宛にJSTから個人情報に関する照会があり得ることに同意します。

以上

　 　　　　　　　　　　 令和7年　　 月　　　日

住所

氏名

**４．各種確認事項および応募者連絡先情報**

様式４

以下の４項目について確認いただき、各項の確認欄（□）にレ印チェックのうえ、申請時に提出してください。また、連絡先情報について、記載してください。

**【１】安全保障輸出管理にかかる各種法令等の遵守**

本公募プログラムにおいて事業化人材として採択された場合、活動において、外為法第55条の10第1項に規定する「輸出等」を行う場合には、同項に規定する「輸出者等遵守基準（※）」のほか、安全保障輸出管理に関する法令、指針、通達等を遵守いただきます。

＜確認欄＞

[ ] 上記について確認しました。

（※）輸出者等遵守基準の概要　：

（詳細は、平成二十一年経済産業省令第六十号 輸出者等遵守基準を定める省令 を必ずご確認ください。）

・最新の法及び法に基づく命令その他関係法令の規定を遵守するために必要な情報を収集すること。

・取引によって提供し、又は輸出をしようとする特定重要貨物等の用途（当該取引の相手方が提供を受け、又は当該特定重要貨物等の輸入者が輸入した当該特定重要貨物等を別の者に提供することをその用途とする場合には、当該別の者の用途を含む。以下同じ。）及び需要者等（技術取引の相手方若しくは技術を利用する者若しくは貨物の輸入者若しくは需要者又はこれらの代理人をいう。以下同じ。）の確認を行うこと。また、特定重要貨物等の用途及び技術を利用する者又は貨物の需要者の確認の適正な実施に当たり必要となる情報を、技術を利用する者又は貨物の需要者以外の者から入手する場合には、当該情報の信頼性を高めるための情報を入手し、用途及び技術を利用する者又は貨物の需要者の確認を行うこと

・特定重要貨物等の輸出等を行おうとする際に、当該特定重要貨物等の輸出等の業務に関する文書、図画若しくは電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他の人の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。以下同じ。）に記載され、又は記録された当該特定重要貨物等を特定する事項と輸出等を行おうとする当該特定重要貨物等が同一であることの確認を行うこと。

・特定重要貨物等の輸出等の業務に関する文書、図画若しくは電磁的記録を適切な期間保存するよう努めること。

・関係法令に違反したとき、又は違反したおそれがあるときは、速やかに経済産業大臣に報告し、その再発防止のために必要な措置を講ずること。

**【２】所属機関の同意書提出について**

本公募プログラムにおいて事業化人材として採択された場合、活動開始にあたり、所属機関の同意書（参考様式）を提出いただきます。

＜確認欄＞（どちらかにチェック）

[ ]  採択後、所属機関の同意書を提出することができます。

[ ]  現時点では機関に所属していません。　→推薦状（様式不問）を申請時にご提出ください

**【３】早暁委員会との利益相反に関する情報**

提案者と、早暁委員会の委員長（PO）・委員（メンター）との利害関係の有無を選択してください。「ある」を選択した場合は、その内容を具体的に記載してください。公正で透明な評価を行う観点から、提案者と利害関係を有する場合には、委員長・委員は選考に加わりません。

利害関係の定義は、公募要領「Ⅱ. 公募・選考について（７）利害関係者の排除」をご参照ください。

早暁委員会リストは以下からご確認いただけます。

https://www.jst.go.jp/program/startupkikin/sogyo/index.html

＜確認欄＞（どちらかにチェック）

　　　　早暁委員会の委員長・委員と提案者との利害関係が　　[ ]  ある　　[ ]  ない

「ある」の場合、対象の委員長・委員：

「ある」の場合、具体的内容：

**【４】採択後の氏名公表について**

本公募プログラムにおいて事業化人材として採択された場合、採択課題名、採択者の氏名をJSTのホームページにて公表します。なお、採択者の希望があった場合は、所属機関名の公表も行う可能性があります。

　　＜確認欄＞

[ ]  ホームページでの氏名等の公表について差し支えありません。

**【５】連絡先情報について**

選考結果等を通知するためのご自身の連絡先情報について、記載してください。

※所属機関、自宅の両方の連絡先を必ず記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 連絡先(所属機関) | 郵便番号：住所：電話番号：　　　　　　　　　　メールアドレス： |
| 連絡先(自宅) | 郵便番号：住所：電話番号：　　　　　　　　　　メールアドレス： |
| 選考結果の送付先（どちらかをチェック） | [ ]  連絡先(所属機関)[ ]  連絡先(自宅) |